



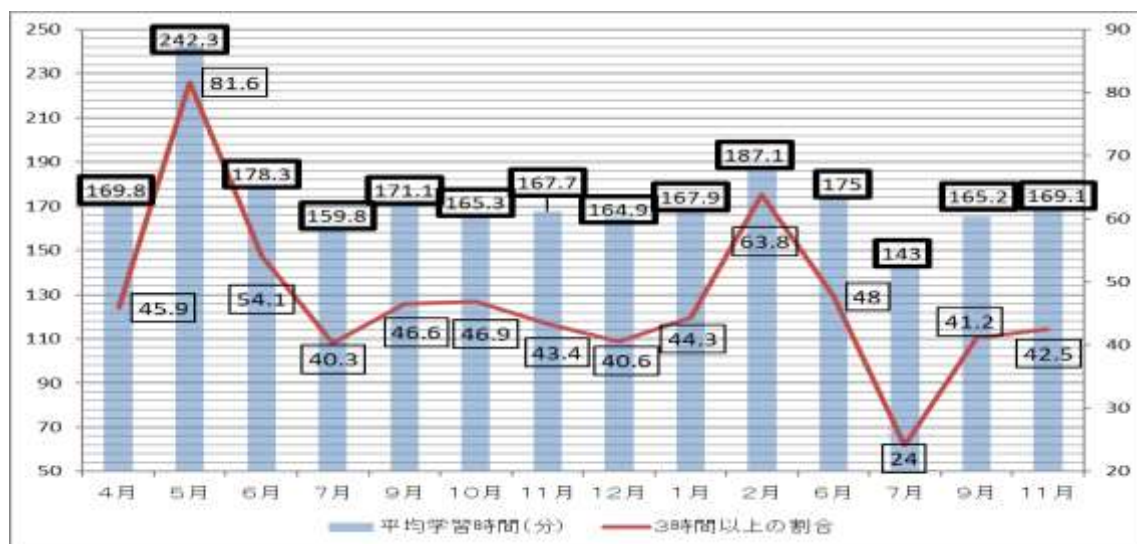
進路だより

R2.12.01
第2学年 8号
安古市高校進路指導部

<振り返り地点を過ぎて>

高校生活の振り返り地点にあたる2年生の秋が終わろうとしている。受験生スタートを掲げた2学期中間考査以降、進路に関する学年集会やLHR、進路講演会を何回か設けたが、こうした行事をとおして「受験生への切り替え」を十分に意識できただろうか。受験生としての自覚を持ち、受験に向けてよいスタートを是非とも切ってもらいたい。

<学習量を確保しよう ～第4回生活学習記録調査より～>



上のグラフは、11月の学習時間調査も踏まえたこれまでの学習時間調査の結果である。11月調査では1日の平均学習時間は169.1分(前回9月調査より+3.9分)、学習時間3時間以上の達成率は42.5%(+1.7%)であった。7月以降少しずつ平均学習時間は増えているが、学習時間をとり受験生スタートをき

た人とそうでない人の差が大きいのが今の2学年の特徴である。学習バランスを保ち、進路講演会や進路LHRでのアドバイスを生かして、全員が受験生スタートを早くきってもらいたい。

<進路学年集会より>

11月18日(水)5・6限に学年集会を設け、進路実現に向けての講演を行った。当日の講演会の内容を踏まえ、特に大切な内容を、ここで確認しておこう。

志望大学合格のためにやって良いことダメなこと

「投資する価値のある大学を選ぶ」「反復して問題を4回は繰り返す」「集中力の差が学力の差になる」「大学入試は午前中から始まるので、朝から頭が活発に働く生活リズム（朝型）を作る」など、印象に残る話を聞くことができた。そして、四角で囲った内容は、その日からすぐに実践できるアドバイスだった。皆さんが書いた感想にも、「これなら、今日から実行できます。」という言葉が多くあった。それから7日しか経っていないが、実行できているだろうか。ある日の授業中の皆さんの姿勢を見ていると、足を組んでいる人、足を投げ出している人、背中が丸まっている人が多くいた。「自分を変える」ことは簡単ではないが、本気で変えようと思えば、必ず「変えることができる」。そして、小さな変化であっても、「変えることができた」意志の強さは、だんだんと他の部分も変えていく。

進路講演会アンケート結果

●講演を聴いて印象に残ったこと

- ・受験生とは第一に基本的な生活習慣ができている人をいう。
- ・勉強に大事なものは、習慣と集中。わかってはいたが、意識して勉強しようと思う。
- ・イスに座る姿勢が集中力に関係すること。
- ・全てを復習するのではないこと。得意科目は予習、苦手科目は復習が主で。
- ・塾に行けばいいというわけではない。
- ・今まで学校より塾を重点に置いていたけど、学校での学習が一番大事だということ。
- ・自分が本当に投資できる大学を選択する。
- ・隙間時間を1か月で計算するだけで600分。
- ・10分以上の暗記は意味がない。
- ・大学入試で成功した人のまねをする。

●講演を聴いての感想

- ・今のままでは落ちると思った。
- ・大学受験を甘く見ていたので意識を改める。
- ・「集中してやれ」と言われたとき痛かった。
- ・夜遅くに寝ているので、今日からその日のうちに寝るようにします。
- ・その日のうちに寝て、朝早くやる！今日から始めていきたいです。
- ・基本的な姿勢から徹底することがわかった。
- ・塾に行こうかと考えていたが、今は学校中心でやろうと思った。
- ・言われた直後はできるけど、「しばらくしてから」が大切なんだと感じた。
- ・自分が努力すれば、第一志望に合格する可能性は広がることを改めて思った。
- ・一度落ちた人たちを見てきたからこそその言葉の重みがすごかった。